平成23年11月定例教育委員会会議録

1 期 日 平成23年11月8日(火)

2 場 所 南別館3階委員会室

3 開始時間 午後1時00分

4 終了時間 午後2時30分

5 出席者

小西委員長・堀内委員長職務代理者・瓦田委員・島津委員・酒匂教育長

その他の出席者

日高教育部長・池田教育総務課長・有嶋学校教育課長、中津スポーツ振興課長・茶藪生涯学習課長・北崎図書館長・新宮都城島津邸館長・原口教育総務課副課長・東教育総務課主幹

6 会議録署名委員

堀内委員・瓦田委員

7 開会

○小西委員長

それでは、ただいまより11月の定例教育委員会を開催いたします。皆様のご協力をお願いいたします。

8 前会議録の承認

○小西委員長

平成23年10月定例教育委員会会議録につきましては、既に原案を配付しておりますが、会議録に記載した内容についてご異議ございませんか。

(異議なし)

○委員長

ご異議がないようですので、前会議録を承認いたします。

9 会議録の署名委員の指名

○委員長

本日の会議録の署名委員に都城市教育委員会会議及び選挙等に関する規則第15条の規定により、堀内委員・瓦田委員にお願いします。

10 教育長報告

10月定例教育委員会以降の行事について概要報告(主要なもの)

(1)堀之内久男翁功績顕彰会寄付金贈呈について

10月12日に堀之内久男翁功績顕彰会寄付金贈呈式が開催された。図書館に堀之内久男文庫創設のために、534万円の寄付金をいただいた。現在、図書館長を中心にその計画を進めている。なお、その中で中郷地区の中郷中、梅北小、安久小の3校には、寄付金の中から別枠で学校図書充実のために役立てて欲しいということである。読書活動推進のために大変ありがたい寄付金であり、大いに活用したいと考えており、その志に添えていきたい。

(2) 九州都市教育長会の総会と研究大会について

10月20日に九州都市教育長会の総会と研究大会が島原市で開催された。研究発表の順番があり、今年は都城市が研究発表の担当市となっていたため、私が研究発表を行った。私は、本市の学校教育の充実についてのテーマで講話をし、エキスパートティチャーと図書館サポーターについて話をした。エキスパートティチャーについては、学力向上が本市の大きな課題であり、教職員の指導力向上のためには行政指導も大事なことであるが、現場の授業や研修会の中で同僚、仲間がお互いに高め合うことも重要なことである。今年の夏休みに実施したエキスパートティチャーの研修会には、330人の教職員の参加があり、昨年度の同研修会には450人を超える参加であったことを伝えた。図書館サポーターについては、読書活動推進の大きな手立てであり、その活動の活性化が図られていることを伝えた。講話後に参加者より多くの質問があり、どの市も多くの課題を抱えていることが解った。九州に116の市があるが、その教育長が一堂に集って真剣な協議を行った有意義な大会であった。

(3) 富松良夫賞創作詩募集コンクールについて

11月5日に富松良夫賞創作詩募集コンクールの表彰式があった。700点を超える応募があり、年々市民や学校の中で浸透していると感じうれしく思った。小・中学生の応募作品の中にも優れたものがある。詩には、言葉の響き、リズム、言葉のイメージの広がりがあり、優れた言語活動である。この機会に子どもたちの作品を集めて、お互いの感性を高めることも重要である。このコンクールの準備、運営に携わられた方々のご苦勞に感謝したい。とくに、審査員の方々は、多数の応募作品の中から入選作品を選定するという、ご苦勞をされたことに感謝したい。表彰式場で、入選者が自分の詩を朗読するという企画もすばらしかった。

○委員長

ただいまの教育長の行事報告について何か御質問等はございませんか。

○委員長

他に何かありませんか。

(意見なし)

11 議事

○委員長

本日は報告10件、議案6件です。

報告第71号「専決処分した事務の報告及び承認について（平成23年度都城市教育委員会名義後援について）」、報告第72号「西岳小教職員住宅の教育財産の廃止に伴う土地面積の確定について」、報告第73号「臨時代理した事務の報告及び承認について（都城市教育委員会が暴力団排除措置を講ずるための連携に関する協定について）」及び議案第52号「都城市使用料条例の一部を改正する条例の制定について」を審議します。説明をお願いします。

※教育総務課長より説明。

○委員長

何かありませんか。

○島津委員

「都城市教育委員会が暴力団排除措置を講ずるための連携に関する協定について」ですが、都城市暴力団排除条例に基づいて、市と教育委員会のみが警察署と協定書を締結されたわけですが、他の団体はこの協定書を締結することはないのですか。

○教育総務課長

今回、条例に基づいて協定書を締結したのが市と教育委員会ということで、他の団体も順次協定書を締結していかれると思います。

○委員長

他に何かありませんか。

(意見なし)

それでは報告第71号、報告第72号及び報告第73号は報告通り承認し、議案第52号は提案通り決定します。

次に報告第75号「都城市特殊教育就学奨励費交付要綱の一部を改正する告示の制定について」を審議します。

説明をお願いします。

※学校教育課長より概要説明。

○委員長

何かありませんか。

○委員長

他に何かありませんか。

(意見なし)

それでは報告第75号は報告通り承認します。

○学校教育課長

前回の10月定例教育委員会で、堀内委員から質問のありました「学校で使用するスポーツ用品を特定の業者が販売しているという話を聞きました。特定の業者しか入札に入れないのでしょうか。」について、お答えします。市内全中学校に、通学かばん、制服、シューズ等の販売業者の指定状況について調査を行いました。その結果、各学校とも特定の業者に偏っているということはありません。業者の変更はできるかという質問には、大半の学校ができるという回答で、可能な限り地元の業者から購入するということでした。兄のお下がりの制服を着る弟がいる場合を想定すると、業者を変更しにくいということもあるようです。また、年度途中の転入生があった場合には、緊急の対応ができる業者から購入したいという考えもあります。

○委員長

次に報告第74号「平成23年度都城市スポーツ賞について」、報告第76号「都城市立学校体育施設開放に関する実施要綱の一部を改正する要綱の制定について」、議案第53号「都城市立学校体育施設開放に関する規則の一部を改正するする規則の制定について」及び議案第54号「公の施設の指定管理者候補者の指定について（都城運動公園外1体育施設・各地区体育施設）」を審議します。

説明をお願いします。

※スポーツ振興課長より概要説明。

○委員長

何かありませんか。

○委員長

公の施設の指定管理者候補者の指定について、非公募になっているのは、従来通りの団体ですか。

○スポーツ振興課長

地区体育館等の地区体育施設については、地区体育協会等に引き続き管理をお願いするところです。

○島津委員

どの程度の施設になれば公募する必要があるのですか。

○スポーツ振興課長

指定管理者制度は、民間でできるものは民間にという考え方の制度です。市の基本方針は、指定管理者は公募で選定というものですが、指定管理者導入の経緯や業務の中身によって、公募、非公募の判断をしています。

○堀内委員

指定管理者候補者の従業員の賃金は、どこから支出されているのですか。

○スポーツ振興課長

都城地区施設協会は、正職員6名とパート11名の計17名で、市からの管理運営費で賃金を支払っています。地区体育協会はボランティアで行っており、役員数を記入したものです。

○委員長

他に何かありませんか。

(意見なし)

それでは、報告第74号及び報告第76号は報告通り承認し、議案第53号及び議案第54号は提案通り決定します。

次に報告第77号「平成23年度都城市人権啓発推進大会開催要項の制定について」、報告第78号「平成23年度都城市社会教育振興大会開催要項の制定について」、議案第55号「公の施設の指定管理者候補者の指定について（都城市コミュニティセンター施設）」及び議案第56号「平成23年度都城市放課後子どもプラン運営委員会委員の委嘱並びに任命について」を審議します。

説明をお願いします。

※生涯学習課長より概要説明。

○委員長

何かありませんか。

○島津委員

放課後子どもプラン運営委員会委員の任期が、平成23年12月1日から平成24年3月31日と短期である理由は何ですか。

○生涯学習課長

第1回目の開催が12月1日と遅れたためです。目標は年度3回ですが、昨年度は1回の開催でした。

○瓦田委員

祝吉小敷地内に、放課後児童クラブの施設を建設中という話を聞きましたが、どのような状況でしょうか。

○教育総務課長

祝吉小の児童数が増え、放課後児童クラブ用の教室が不足したため、学校とこども課が協議して体育館の東角に仮設施設を建設中で、今年12月末に完成予定です。

○瓦田委員

児童数が増えて、学校敷地が狭くなっていると聞きますが、どのような状況でしょうか。

○教育総務課長

祝吉校区には、民間の放課後児童クラブが少ない状況であり、学校の敷地内に仮設施設を建設せざるを得ない状況です。今後、児童数が増えていきますと、教室の確保が一番の課題となっていきます。

○委員長

他に何かありませんか。

(意見なし)

それでは、報告第77号及び報告第78号は報告通り承認し、議案第55号及び議案第56号は提案通り決定します。

次に報告第79号「富松良夫賞創作詩コンクール受賞者について」を審議します。

説明をお願いします。

※図書館長より概要説明。

○委員長

何かありませんか。

○瓦田委員

富松良夫賞創作詩コンクールは、素晴らしいものでした。熱心に指導している先生がいらっしゃるのですね。

○図書館長

小学校12校、中学校3校の児童・生徒の応募がありました。各学校の校長、教頭の熱心な学校から多くの応募があったものと思います。

○委員長

私は審査員でしたが、選考の際に生原稿を見ると主観が入るため、図書館職員の方が苦勞されてパソコンに入力されたもので客観的な審査ができたことは、大変良かったと思います。普段、大人の作品しか読んでいないため、児童の作品を審査する際には、日常子ども書を読んでいる小学校の先生に審査員に入って欲しいと思います。

○瓦田委員

MRTラジオの子ども作文朗読も、小学校の先生が解説されていますので、私も小学校の先生に審査員に入って欲しいと思います。

○委員長

コンクール表彰式のスタイルが、第2回目から受賞者による朗読の場を持ったことは、校長も詩の大切さを感じてもらえたと思います。

○委員長

他に何かありませんか。

(意見なし)

それでは、報告第79号は報告通り承認します。

次に報告第80号「都城島津邸の博物館登録について」及び議案第57号「都城島津邸の正月開館について」を審議します。

説明をお願いします。

※都城島津邸館長より概要説明。

○委員長

何かありませんか。

○瓦田委員

都城島津邸菊花展は素晴らしい展示で、多くの方に来ていただければ良いなと思います。

○都城島津邸館長

ありがとうございます。それに関連してですが、クーポン契約をJR九州、熊本バス、昭和バス等5社と締結しました。来年3月から6月にツアーを組むことを計画しています。そのツアーの日

程を検討する際に、月曜日に観覧したいというお客様の希望に応えるために、開館日を変更したいと考えていますが、そのためには条例の見直しが必要となります。

○委員長

他に何かありませんか。

(意見なし)

それでは、報告第80号は報告通り承認し、議案第57号は提案通り決定します。

12 その他

○瓦田委員

祝吉小の児童数が増えているとのことですが、川東小との校区の変更は考えられないのでしょうか。

○教育総務課長

祝吉小校区は未就学児が多く、近い将来教室が満杯になることが予想され、教室の確保が重要な課題となっています。そのためには、校舎を改築して教室数を確保することも考えられますが、将来的に児童数の増加がいつまで続くのかが予想しにくいこともありますので、今後の推移等を見極めながら建増しについては慎重に計画する必要があります。校区の見直しにつきましては、学校教育課の所管となりますが、川東小は過去に祝吉小から分離した経緯もありますので、慎重な議論が必要と考えます。

○瓦田委員

早水体育文化センターの駐車場がイベント毎に満杯ですので、他の駐車場の確保はできないでしょうか。

○教育部長

早水体育文化センターは、都市公園内の施設として法律の規制があります。大きな大会を開催する際は、近隣の土地を借りています。土木部と協議して、将来的に東側の道路改良と併せて駐車場を確保する予定です。

○次回12月定例教育委員会日程について

日時 平成23年11月21日(月) 10時00分から

会場 南別館3階委員会室

以上で、11月定例教育委員会を終了します。